

# 帯畜・樽商・北見工大の統合法人

# 理事長に長谷山氏

慶応前塾長



長谷山彰氏

【帯広、小樽、北見】来年4月に経営統合する帯広畜産大、小樽商科大、北見工業大は25日、新設する運営法人「北海道国立大学機構」（帯広）のトップとなる初代理事長に、学校法人慶応義塾（東京）の前塾長・長谷山彰氏を充てる方針を固めた。複数の関係者が明らかにした。3大学の関

係者でつくる合同理事長選考会議が理事長候補者に選任し、26日にも発表する。文部科学相による任命を経て正式に決定する。

関係者によると、長谷山氏は公募した10人以上の中から選ばれた。選考会議は、長谷山氏が慶応大を運営する慶応義塾の理事長に当たる塾長を2017年から今年5月まで務め、大学経営に精通している点を評価。慶応義塾は東京歯科大と23年4月をめどに、運営する学校法人の合併協議を進め

ており、その手腕も考慮したとみられる。

長谷山氏は1952年、秋田県生まれ。慶応大の法学部と文学部をそれぞれ卒業後、97年に同大文学部教授に。学生総合センター長や文学部長を歴任した。慶応義塾では常任理事を経て、塾長兼慶応大学長を務めた。専門は日本法制史。3国立大の経営統合は全国初。今年7月、経営統合後も均衡ある発展を目指すため、運営法人の最高責任者となる理事長を学外から

公募した。9月上旬に締め切り、書類選考や面接を経て、候補者を1人に絞った。理事長の任期は4年で、

再任できるが通算6年まで。帯畜大構内に建設中の機構本部に常勤する。3大学のキャンパスや学長職は

存続し、各大学の学長は機構の理事会メンバーとなる。（幸坂浩、宮本夕梨華、古市優伍）